

癌化学療法プロトコール

氏名: \_\_\_\_\_  
 ID: \_\_\_\_\_  
 体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

プロトコール名 **Ramucirumab**

対象疾患 がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞

診療科 外科

施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法 (1.2.3)

投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
② ポラミン	5mg/mL		生食50mL	15分かけて
③ サイラムザ	8mg/kg		生食250mL	投与速度は特記事項参照(全量250mL)

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
① 生食	→				
② ポラミン	→				
③ サイラムザ	→				

3 投与スケジュール

1クール14日間。(1.2.3)

4 特記事項 (1.2)

- ・ サイラムザは0.22 μmのインラインフィルターを使用
- ・ サイラムザは初回60分で投与し忍容性が良好であれば2回目以降は30分で投与可能。
- ・ サイラムザ投与後は1時間の観察期間を設定しており、最初の2サイクルは必須、infusion reactionの発現がなければサイクル3以降は省略可。